

総合工学委員会・機械工学委員会合同
計算科学シミュレーションと工学設計応用分科会
計算音響学小委員会（第24期・第1回）
議事録

日時：平成30年8月21日（火）13:00-15:00

場所：日本学術会議5階 5-C(1)会議室

出席者（敬称略）：小机わかえ（委員長）、石濱正男、木下明生、谷口隆晴、西口磯春（幹事）、西村直志、西脇眞二、萩原一郎、山崎徹、若槻尚斗（幹事）

欠席者（敬称略）：矢川元基（副委員長）、巖桂二郎、岡村宏、松本敏郎、横山真男

1) 自己紹介

小机委員が世話人として司会進行を勤め、出席者の自己紹介を行った。

2) 役員を選出について

委員長を小机委員、副委員長を矢川委員、幹事を若槻委員および西口委員が担当することが承認された。

3) 23期のまとめ

小机委員長より、前委員長の立場で23期のまとめが述べられた。23期においては、計算音響学に関連する研究紹介が行われたこと、今後の計算音響学に関する提言をまとめる作業を開始したこと、等が述べられた。

4) 24期の活動方針（配布資料1、2）

小机委員長より、配布資料1により、24期の活動方針が示され、了承された。また配布資料2により、委員会メンバーを確認した。定員の範囲内で、必要に応じて委員の拡充を図ることになった。

5) 提言“次世代計算音響学に向けて”の検討（配布資料3）

萩原委員より、配布資料3にもとづき、提言“次世代計算音響学に向けて”の要旨の説明がなされた。現状及び問題点の分析に基づき、明確な国家的政策を立案し実施すること、長期的な視野に基づく研究体制を構築すること等を提言の骨子とする案が示され、了承された。様々な用語（例えば、モデルベース開発技術、バーチャルシミュレーション等）が明確な定義がないまま一人歩きしている現状が指摘され、今後、この小委員会で明確化することなどが議論された。

6) 話題提供“SIPの動きなど”

石濱委員より、戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）、経済産業省が中心となり自動車メーカーおよび部品メーカーが進めてきた、先行開発・性能評価におけるバーチャルシミュレーションモデルの標準化に関する「自動車産業におけるモデル利用のあり方に関する研究会」、次世代音振基盤技術研究会等について話題提供がされた。自動車産業におけるシミュレーション基盤構築における現状分析とあるべき姿についての見解が示された。今後、この内容を提言の中にも取り入れていくことになった。

7) 次回委員会について

1D-CAE, MBD (Model Based Development) などの言葉が意味するものが、使う人によって様々であり、当委員会が目指す提言の中でこれらの言葉の定義を示すとよいのではないかという意見があった。これに関して、当委員会で議論するために、これらの言葉の定義案を山崎委員が用意し、次回の委員会で議論することとなった。

配布資料

議事次第

資料1 計算音響学小委員会 設置提案書

資料2 計算音響学小委員会 委員名簿

資料3 “次世代計算音響学に向けて”の要旨および目次（案）

参考資料 石濱委員プレゼン資料（後日配付予定。）

以上.